

R2.11.26

熊本市中心街を美化

電設協、高森線でゴミ拾い



熊本県電設業協会（岩崎裕会長）の「道路ふれあい美化ボランティア活動」が21日にあり、熊本市中心街の高森線を清掃した。

市との協定に基づき年2回実施している活動。

今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い5月の開催を中止したため、今回が1回目となる。国県道の管理が移行される以前に県と協定を結んでいた「ロード・クリーン・ボランティア」を含めると通算23回目。

会員とその家族ら145人が参加。出発式で、活動を企画する安全福祉委員会の金澤吉剛委員長（金沢電気設備）のメッ

セージが紹介され、「新型コロナウイルスは予断を許さない状況。マスク着用など感染予防を徹底した上で作業してほしい」と呼び掛けた。

作業は、白川に架かる大甲橋から桜町交差点までの約1.5キロを対象に、歩道や植樹帯に捨てられたタバコの吸い殻、ペットボトルや空き缶などを約1時間かけて拾い集めた。